



特定非営利活動法人JAFSA
(国際教育交流協議会)

2021年度 年次報告書

日本の大学を、世界へ。

デザイン・編集・製本 有限会社KBUNSHA (JAFSAシルバー賛助会員)

凡 例

- ◆団体名、法人格(財団法人、株式会社など)の記載
 - ・ JAFSA 会員一覧(JAFSA HP 掲載)の表記と統一とする

- ◆個人名の記載
 - ・ 原則「人名(所属機関 所属部署 肩書き)」
 - ・ 所属機関、所属部署、肩書きは事業実施当時のものを記載
 - ・ JAFSA 役員は「人名(所属機関 JAFSA 役職)」
(所属部署 肩書きは別紙参照)
 - ・ 講師／講演者／参加者等すべて敬称略

目次

1. グローバルネットワーキングに関する事業	3
【海外諸団体との交流および支援】	
(1) 海外諸団体との連携・アウトリーチ	3
(2) 各国大使館・教育団体との連携・アウトリーチ	10
2. 国際教育交流の人材育成に関する事業	12
2-1. JAFSA 主催・企画研修プログラム	12
2-2. JAFSA 主催/共催 ウェビナー、オンライン・ワークショップ	16
2-3. JAFSA 共催(共同)調査	21
2-4. JAFSA 協力/後援プログラム	21
3. アウトリーチ・広報に関する事業	24
3-1. 国際教育交流に関する研究・調査	24
3-2. JAFSA の広報に関する事業	24

JAFSAは、 「グローバルネットワーキング」・「人材育成」・「アウトリーチ」の 3本の柱を中心に活動しています。

1. グローバルネットワーキングに関する事業

JAFSAは、世界各国の国際教育交流団体や国際機関との連携をはかり、これら団体が主催する年次大会へのブース出展・セッション発表者派遣等を実施しています。この分野の事業はJAFSA事業の中核に位置しており、JAFSA会員の方々に、多種多様なネットワーク拡大の場を提供しました(2020年度に引き続き、COVID-19の影響でいずれもオンライン開催)。

【海外諸団体との交流および支援】

(1) 海外諸団体との連携・アウトリーチ

NAFSA(米国)、EAIE(欧州)、APAIE(アジア太平洋)に最重点をおき、ネットワーク形成の促進を目指しました。各海外諸団体の年次大会を通じ「STUDY in JAPAN」を総合的にプロモートし、日本の大学のプレゼンスを高めるとともに、海外におけるJAFSAの位置づけも強化することが目的です。ただし、新型コロナウイルス(以下COVID-19)の変異株感染拡大により、2021年5月に実施予定だったNAFSA2021オーランド大会、そして2021年9月実施予定だったEAIE2021ヨーテボリ大会は中止、そして2020年3月の延期・更に2021年3月の再延期から満を持して2022年3月に実施予定だったAPAIE2022バンクーバー大会も対面開催中止となり、2021年度も海外諸団体との交流機会はすべてオンラインのみとなり、JAFSAでは、オンラインでのブース展示やセッション参加、広報強化で対応しました。

1) NAFSA

- NAFSA(National Association for International Educators) は米国で1948年に設立され、2021年で73年目になる世界最大規模を誇る米国の国際教育交流団体。
- 毎年5月下旬から6月初旬に米国(10年に一度程度カナダ)のいずれかの都市で開催されるNAFSA年次大会は、国際教育交流に携わる関係者が集まる国際交流フェアの規模としては世界最大規模で、参加者は例年約100か国より1万名前後。年次大会の内容はワークショップ・セッション・ブース出展と大きく3つのジャンルに分かれています。
- JAFSAは以前からセッションへの応募や個々の大学のブース出展を応援してきましたが、2008年から「STUDY in JAPAN」として一部ブース出展の取りまとめを開始しました。当初は6ブース程度と小さい単位でしたが、毎年拡大を続け、もともと独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が行っていた日本留学フェアの一部という役割を、完全にB-Bのフェアとしては官民逆転する形で2013年度より統合して「STUDY in JAPAN」として取りまとめるに至りました。
- 「STUDY in JAPAN」は、NAFSA最上位会員「Global Adviser」として例年のNAFSA年次大会で日本高等教育の存在を大きくアピールしています。

NAFSA2021 バーチャル大会と「STUDY in JAPAN」

「NAFSA2021 年次大会」は、米国オーランドにて、2021年5月30日(日)～6月4日(金)に開催予定でしたが、コロナ禍により、対面実施をとりやめて2021年6月1日(月)～6月4日(金)にオンラインで開催されました。

●大会の「Gold Sponsor」として日本高等教育をアピール

NAFSA2021 バーチャル大会において、「STUDY in JAPAN」はスポンサー内でも上位の「Gold Sponsor」に位置付けられ、大会 HP やプラットフォーム内、大会関連メルマガなどに「日本留学ロゴ」が大きく掲載されました。対面大会が実施されていた時と変わらず、日本の高等教育のプレゼンスを世界に向けて示すことができました。

Conference Sponsors



●JAFSAセッション

「JAFSAセッション(JAFSA Session)」とは、2011年より毎年NAFSAからJAFSAに対して特別枠をオファーされて実施している、日本の高等教育に関する発表です。文部科学省にも発表を依頼しており、各大学の個別事例とともに日本の実情や今後の目標などをプレゼンテーションする良い機会となっています。

・セッション(放映)日時:2021年6月3日(木)16:00(日本時間6月4日(金)5:00)

・セッションタイトル:

International Higher Education for Creating Shared Trust towards Shared Future

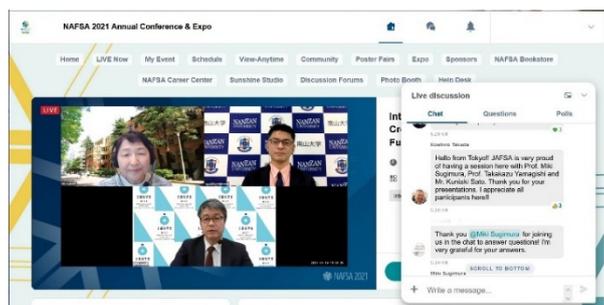
・ライブでの参加人数:235名

・登壇者

◆杉村 美紀 (上智大学[JAFSA会長校] 総合人間科学部教育学科 教授) [2021年6月発表時役職]

◆佐藤 邦明 (文部科学省 高等教育局 主任大学改革官 国際企画室長)[2021年6月発表時役職]

◆山岸 敬和 (南山大学 国際センター長/国際教養学部 教授)



●大会公式スポンサーとして、HPやメルマガなどに「日本留学ロゴ」が掲載され、そのリンク先では、「対面開催のNAFSA2021オーランド大会に出展予定だった STUDY in JAPANの34団体(大学・機関)」を紹介しました。

2) EAIE

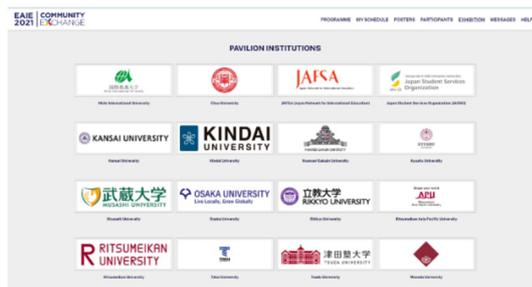
- EAIEはNAFSAについて世界で2番目に大きい国際教育交流大会といってよく、世界各国より6,000名以上が参加するヨーロッパの国際教育交流分野最大のコンベンションです。JAFSAのグローバルネットワークワーキング事業としてNAFSAと同様力を入れていますが、JAFSA会員大学の中でもEAIEの存在が定着しています。
- EAIEの年次大会は、毎年1回9月中旬に欧州各地の持ち回りでほぼ一週間の会期で開催されます。特別講演、セッション、ワークショップ、ネットワークのためのさまざまなイベントが催されるほか、展示ホールでのブース出展が行われ、世界中の教育機関から多くの参加者が集まります。

EAIE2021 オンライン大会と「STUDY in JAPAN」

COVID-19の影響でスウェーデン・ヨーテボリでの対面実施が中止、オンライン開催となりました。オンライン大会にて、JAFSAは「STUDY in JAPAN」として「JAPAN National Pavilion (日本を代表する集合ブース)」をバーチャル出展しました。

- ・開催日:2021年9月28日~10月1日(オンラインプラットフォームは9月14日~10月25日まで公開)
- ・開催方法:大会専用のオンラインプラットフォーム上でのバーチャル大会
- ・参加国:70か国超
- ・参加人数:2,000名超

●「STUDY in JAPAN」(日本合同)バーチャルブースでは、15大学が出展し、大学の紹介をしました。JAFSA は日本合同ブースの取りまとめ団体として、JASSO は日本の大学および日本留学全体の情報提供機関として出展しました。



●日本ブースにオンライン上で訪問する海外からの参加者のために、JASSO(独立行政法人日本学生支援機構)の協力のもと、日本の各出展大学が持つプログラムを一覧にして情報提供しました。

●National Pavilion “STUDY in JAPAN” セッションとして、文部科学省より2021年の日本の高等教育の最新情報を発表しました(オンライン発表)。

- ・開催日:2021年9月29日(水)9:30-9:50(日本時間16:30-16:50)
- ・発表形式:事前に録画した20分の動画とチャット機能を使ったライブQ&A
- ・セッションタイトル:What's new in JAPAN (Japan: What's new in Higher Education)
- ・登壇者:佐藤 邦明(文部科学省 高等教育局 主任大学改革官[2021年9月発表時役職])

3) APAIE

- APAIE(Asia-Pacific Association for International Education エーパイ)はアジア太平洋地域の国際教育交流団体です。毎年3月頃開催される年次大会はNAFSA(北米)、EAIE(欧州)に比べ歴史が新しく規模も小さいものです。当初は東アジア、東南アジア中心の地域的な団体色が濃かったものの、近年は大会参加者・参加機関ともに増え、他地域特に欧米からの参加も増大しました。
- JAFSAは、2014年3月ソウル大会より、会員大学を取りまとめて「STUDY in JAPAN」ブースとして出展しています。
- 2014年ソウル大会「11団体(10ブース)」、2015年北京大会「17団体(14ブース)」、2016年メルボルン大会「24団体(18ブース)」、2017年高雄大会「16団体(12ブース)」、2018年シンガポール大会「17団体(14ブース)」、2019年クアラルンプール大会「19団体(16ブース)」と出展を重ね、日本合同ブースへの関心は継続的です。多くの出展団体を得て「日本」として大きく構えられることは、APAIE事務局への働きかけにもつながりました。次年度大会は既にタイ・バンコクでの開催が決定しているため、3年越しで準備を進めていたバンクーバーでの対面大会は延期ではなく中止となり、JAFSAではAPAIE2022運営側やバンクーバー現地指定業者及び「STUDY in JAPAN」出展団体との出展費用精算作業を行いました。

APAIE2022 大会と「STUDY in JAPAN」

APAIEの年次大会は、COVID-19パンデミックにより2020年以来見合わせとなっており、2022年3月にカナダ・バンクーバーで3年ぶりとなる対面開催が予定され準備を進めていましたが、直前にCOVID-19オミクロン株の世界的感染爆発が起こり、2022年1月25日にAPAIE2022運営側より「全面的にバーチャル大会での開催に切り替える」と発表がありました。

・開催日:2022年3月27日(日)~31日(木)

「STUDY in JAPAN」バーチャルブース出展もAPAIE2022運営側より提案があったものの、カナダと日本の時差などから費用対効果は得られないと判断し、「STUDY in JAPAN」バーチャルブース出展は断念。一方で「JAPAN」の存在を継続的にアピールするため、「APAIE2022バーチャル大会 Silver Sponsor」ならびにオンラインセッション「Regional Report-JapanのSponsor」となり、スポンサーロゴのリンク先にAPAIE2022出展予定であった16団体(15大学+1企業)を紹介しました。

また、JAFSA理事校としてバーチャル大会に参加した「関西学院大学」「東海大学」にはオンライン参加後にレポートを執筆してもらい、オンラインならではのメリット・デメリットがある中でも効果的なネットワーキングの様子を報告してもらいました。

4) AIEA

- AIEA(Association of International Education Administrators エイ・アイ・イー・エイ)は、1982年創立の米国の国際教育交流団体です。NAFSA, EAIE, APAIEとはカラーが異なり、高等教育機関の経営や教育方針に関する意思決定者が多くメンバーになっていることが特徴です。2019年より、JAFSAはコーポレートメンバーとして会員登録しています。年次大会は毎年ほぼ2月に米国ワシントンD.C(2年連続)とサンフランシスコ(3年に1度)で行われ、セッション中心で形成されています。

- 参加者は1,000名程度で米国からの参加者が多数ですが、日本の大学からの参加者数も徐々に増えており、2020年大会では、参加国・地域の中で第5位を記録しました。
- JAFSAでは、日本の参加者増に合わせて2017年次大会(2017年2月)より、JAFSA理事大学を中心に構成したセッション発表で参加しています。AIEA年次大会でのセッションは質を求められるため、審査が大変厳しい状況で、JAFSAセッションは2022年2月大会で6年連続採用されました。大会での発表を通し、日本の高等教育のプレゼンスを高めることに貢献しています。

AIEA2022年次大会(2022年2月)

AIEA2022年次大会におけるJAFSAセッションは2022年2月21日(月)10:15-11:15(CSTアメリカ中部標準時)での発表が採用されましたが、米国現地におけるオミクロン株感染拡大を鑑み、in-person(対面)でニューオリンズにて開催される年次大会への出席は断念しました。

AIEA側からは代わって2022年4月6日~7日にオンラインで開催された「AIEA Global Summit」での録画配信が認められ、登壇者とセッション録画を行い、オンラインによる動画発表を行いました。動画は大会参加者に対してオンデマンド形式で2022年Global Summit期間中~5月末まで公開されました。

・登壇者

- ◆森下 哲朗(上智大学 [JAFSA 会長校] グローバル化推進担当副学長/法学部 教授)
- ◆マシュー・ウィルソン(テンプル大学ジャパンキャンパス[JAFSA 理事校] 学長)
- ◆吉川 直人(東海大学[JAFSA 理事校] 副学長(国際担当))

・テーマ: Perspectives from Japan -

The Pandemic's impact and Future Forecast for Study Abroad

・発表概要

COVID-19パンデミックにより高等教育の分野、特に「留学」は大きな打撃を受け、多くの教育機関ではリスク管理上、現在も留学を停止している中、日本に拠点を置く3つの大学の留学経験を共有し、COVID-19パンデミック発生以来、今現在も困難な「学生のリアルな交流」がどのように改善するかを探り、リスク評価および管理する方法について考える機会を作りました。

また、2022年に創立40周年を迎えたAIEAとJAFSAの良好な関係を継続すべく、「AIEA2022 Conference and 40th Anniversary Supporter」という大会スポンサーとなり、AIEA2022においてJAFSAの存在をアピールしました。



5) CAEI

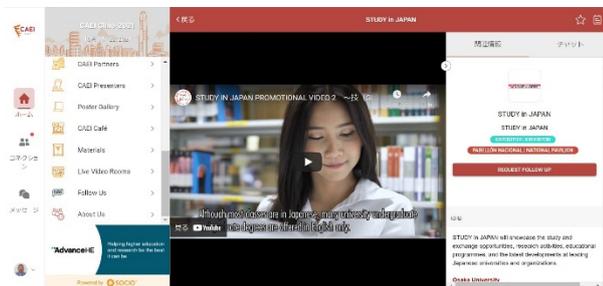
CAEI(Conference of the Americas on International Education)は、中南米エリアを中心とした国際高等教育ネットワークです。大会は 2 年に一度、北中南米のいずれかの都市で主催され、IOHE (Inter-American Organization for Higher Education)が CAEI 大会の運営を行っています。地理的要素や開催時期が EAIE 直後と重なるため参加が困難でしたが、2021 年はチリのサンティアゴ開催予定がオンライン大会に変更されたため、中南米地域におけるネットワーク作りとして初の試みとなる「日本ブース」を合同出展しました。

CAEI2021Chile バーチャル年次大会

- ・開催日:2021 年 10 月 19 日(火)~22 日(木)*大会スケジュールは「サンティアゴ現地時間」で開催
- ・開催方法:オンライン
- ・使用主言語:英語およびスペイン語、フランス語、ポルトガル語
- ・参加国:40 か国超
- ・参加人数:1,100 名超

●バーチャルブース出展

COVID-19 の影響で対面大会が中止となりオンライン大会開催となった CAEI2021 大会において、JAFSA は「STUDY in JAPAN」として 6 つの大学とともに「JAPAN National Pavilion」をバーチャル出展しました。



●「STUDY in JAPAN」セッション@CAEI2021

National Pavilion “STUDY in JAPAN” セッションとして、JAFSA 団体正会員大学で特に中南米との交流に力を入れている筑波大学と東京外国語大学が登壇し発表を行いました。セッションでは中南米諸国との連携を通じた各大学の取り組みとプロジェクトの成果を検証し、国際高等教育分野における COVID-19 以降の日本と中南米諸国との発展的な関係を提案しました。視聴者は大会に参加登録をする必要がありましたが、中南米地域を中心に 60 名近い視聴者があり、これまで日本の高等教育について発信できなかった地域に対しても「JAPAN」をアピールする良い機会となりました。

- ・発表(放映)日時:2021年10月20日(水)9:00-10:00(チリ時間)/21:00-22:00 (日本時間)
- ・発表形式:Zoomを使ったライブセッション&質疑応答

・セッションタイトル:The results and future of research and education collaboration between Latin American countries and Japan

・登壇者

- ◆森下 哲朗(上智大学[JAFSA会長校] グローバル化推進担当副学長/法学部 教授)
- ◆バントン・キャロライン(筑波大学 理事・副学長(国際担当))
- ◆松隈 潤(東京外国語大学 副学長(国際担当)/大学院総合国際学研究院 教授)

●Pre-CAEI webinar-上智大学-@CAEI2021

2020年にIAU(International Association of Universities:1950年にユネスコ支援のもと、世界中の高等教育関係者で設立されたメンバー制教育団体)が、「COVID-19が世界中の高等教育に与えた影響について」実施した調査結果に基づき、CAEI2021のpre-webinarにおいて4大陸の各教育団体代表がそれぞれの意見を述べる機会があり、日本・アジア地域を代表してJAFSA会長校・IAUメンバーである上智大学 森下副学長が登壇しました。

・開催日:2021年8月31日(火)10:00(日本時間23:00)

・発表形式:CAEI2021大会platformを利用したオンラインウェビナー

・ウェビナータイトル:

WEBINARS CAEI CHILE 2021 presented by OUI IOHE in collaboration with IAU

・登壇者

- ◆Giorgio Marinoni:Manager, HE and Internationalization, International Association of Universities (IAU)
- ◆森下 哲朗:上智大学 [JAFSA会長校] グローバル化推進担当副学長/法学部 教授
- ◆Prof. Fernando Leon Garcia:President, CETYS University, Mexico and President of International Association of University Presidents (IAUP)
- ◆Dr. Lavern Samuels:Durban University of Technology, South Africa and International Education Association of South Africa(IEASA)

6) NIEA

NIEA(Network of International Education Associations)は高等教育の国際化を進める非営利・非政府団体で、JAFSA は、AIEA(NIEA の創設メンバー)、NAFSA、EAIE、APAIE とともに、NIEA のメンバーとなっています。

NAFSA, EAIE, AIEA の各大会において NIEA の打合せやレセプションが開催され、NIEA メンバーが集まって互いの活動・近況の報告が行われます。JAFSA は JAFSA 役員と共に打合せや各レセプションに参加していますが、2021 年度も主だった海外フェアが COVID-19 の感染拡大で中止になったため、オンラインで以下の活動を行いました。

NIEA Meeting 2021

- ・開催日:2021年6月3日(木)7:30-8:30 EDT (日本時間 2021年6月3日(木) 20:30)
- ・開催方法:「Ring Central」というコミュニケーションツールを利用したオンラインミーティング方式
- ・議 題:「ユネスコ世界会議上の高等教育分野へのNIEAの関わり」「NIEA各会員のupdate」等
- ・参加人数:NAFSA CEO、EAIE vice-President、AIEA Executive Director、APAIE Director 等、国際高等教育団体の代表23名

・出席者

◆森下 哲朗(上智大学 [JAFSA会長校] グローバル化推進担当副学長/法学部 教授)

◆高田 幸詩朗(JAFSA事務局 事務局長)

2021 年度より JAFSA 会長校 上智大学における グローバル化推進担当副学長に森下氏が就任した為、NIEA メンバーへの紹介も兼ね上記オンラインミーティングへ参加しました。

(2) 各国大使館・教育団体との連携・アウトリーチ

日本の会員大学が海外大学と交流の場を持てるよう JAFSA 正会員である在日海外公館の方達のご協力を得て、2020 年度に引き続きオンラインでの大学間交流会を実施しました。

1) 在日海外公館コラボセミナー

JAFSA 正会員である在日海外公館の方達のご協力を得て、2020 年度に引き続きオンラインでの大学間交流会を実施しました。

① UK-JP Online Seminar – April 2021 「Study UK ウェビナーシリーズ」

～2021/2022 年 短期コース・夏季プログラムのご紹介～

・共 催:ブリティッシュ・カウンシル[JAFSA 団体正会員]

特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

・実施日:2021 年 4 月 20(火)～4 月 22 日(木)各日 16:00-17:15

・参加対象:JAFSA 会員大学・教育関連機関(JAFSA 会員限定)

・実施形式:オンライン…ブリティッシュ・カウンシルがホストの Teams

・参加校:[英国] 6校/[日本] 20 校より延べ 53 名

・概 要:

日本の教育機関に、「2021 年度の夏休み・冬休みに提供されるオンラインによる英国短期プログラム」や、「2022 年に予定される対面式(オンライン式での可能性もあり)の英国サマープログラム」について、英国の大学より直接説明がありました。英国大学担当者とオンラインで繋ぎ、リアルタイムで説明、質疑応答もライブで実施しました。

② 米国大学とのオンラインプログラムによる国際交流とコロナ後の展望

～Wilkes University (米国ペンシルバニア) と玉川大学の発展的 COIL プロジェクトの実例紹介～

・実施日:2021 年 10 月 26 日(火)10:00-11:00

・共 催:米国大使館商務部 [JAFSA 団体正会員]

特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

- ・参加対象: JAFSA 会員限定
- ・日本側参加人数: 53 大学+4機関より 82 名
- ・使用言語: 主として英語、通訳なし(日本の大学も英語で発表)
- ・概 要:

「コロナ禍、そしてコロナ後を見据えた、日米大学によるオンラインプログラムの成功例」をウェビナーにて紹介。米国大使館ビザ担当者による学生ビザ発行を巡る現況についてのお話や、キャンパス内でのコロナ対策の一例として、ウィルクス大学のコロナ対応担当者に、これまでの経緯や現況等を説明しました。

③ 2022 年春休みに「アジア圏で実現可能な」オーストラリア短期語学留学プログラムのご紹介

- ・実施日: 2021 年 11 月 18 日(木)14:00-15:30(日本時間)
- ・共 催: 在日オーストラリア大使館商務部 [JAFSA 団体正会員]
特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

- ・実施形式: オンライン(Zoom)
- ・参加対象: JAFSA 会員大学・高専の教職員
- ・オーストラリア側参加校: 6校
- ・日本側参加人数: 29 大学・1 高専・2 機関より 36 名
- ・概 要:

在日オーストラリア大使館商務部より、「オーストラリア本国でのコロナ感染状況、国境再開の見通し」と「アジア圏にあるオーストラリア教育機関の分校で実施できる、短期語学留学全般について」のお話があり、その後、各参加大学のアジア分校担当者による学校紹介が行われました。

2. 国際教育交流の人材育成に関する事業

コロナ禍が続く中、2021 年度も「オンライン」での研修・セミナーを実施。その中で得た経験をもとに「参加者同士の交流」「ネットワーキング」が活発に行えるよう留意しました。また、定番の研修(初任者研修、実践英語研修)を踏襲しつつ、コロナ禍と留学をめぐる状況が刻々と変化する中、時事に応じた「ウェビナー」「ワークショップ」を臨機応変に実施したのが、今年度の大きな特色です。会員の方々のニーズに声を傾けながら、今年度の新規企画実施は「9 タイトル、17 件」に及びました(詳細は 2-2)。

2-1. JAFSA 主催・企画研修プログラム

(1) オンライン「初任者研修」～基礎から学ぶ国際教育交流～(JAFSA 会員限定)

主 催: 特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

JAFSA 研修の中では、文字通り「基礎」と呼べる定番のもので、年に 5 回、同じ内容で実施。即満席となる人気の研修です。留学生受け入れ・送り出しを含む、国際関係業務の初任者向けで、理論と実践を結びつけ、基礎力強化を目指しています。

講義の中では対面時と同様に「グループディスカッション」や「ロールプレイ」を多く取り入れた「参加型」で、参加者同士のワークを行うことで、他大学の方との「情報交換」や「ネットワーキング」に繋がっていることが、高い評価を得ています。また、講師陣は、国公立、教員・職員を混ぜて、現場経験の豊富な若手が担っていることも人気の要因となっています。

2021 年度も、全てオンラインにて「半日 x2」を 1 セットとしたスケジュールで実施。結果として、全国からの会員大学が等しく参加できる好機となり、今年度の参加者も、国公立・大学規模、地方・都市を問わず、バラエティに富んでいるのも特徴です。



講義の様子

・講 師:(講義順) ※所属・役職は2021年当時のものです

- ◆谷口 紀仁(名古屋大学 国際教育交流センター 教育交流部門 教育発達科学研究科担当 講師)
- ◆葉佐 賢太郎(関西学院大学 国際連携機構事務部 職員)
- ◆三浦 雅美(日本大学 文理学部 教務課 職員)
- ◆新見 有紀子(東北大学 高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター 講師)

第1回

- ・実施日:2021年5月19日(水)・20日(木)
- ・参加者:20名/18団体会員(16大学、2教育関連団体)

第2回

- ・実施日:2021年5月25日(火)・26日(水)
- ・参加者:20名/17団体会員(16大学、1教育関連団体)

第3回

- ・実施日:2021年7月1日(木)・2日(金)
- ・参加者:18名/13団体会員(13大学)

第4回

- ・実施日:2021年10月27日(水)・28日(木)
- ・参加者:20名/18団体会員(17大学、1教育関連団体)

第5回

- ・実施日:2021年11月10日(水)・11日(木)
- ・参加者:18名/14団体会員(14大学)

(2) オンライン「国際共修研修」

主 催:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

企画・協力:講師陣(講師名箇所を参照)

言語や文化的背景の異なる学習者同士が教育的に工夫された仕掛けによって、意味ある交流を通して多様な考え方を共有・理解・受容し、自己を再解釈する中で新しい価値観を創造する学習体験は「国際共修」と呼ばれ、国内外の大学で2000年代頃より国際教育を中心に開発・実践が進んでいます。

2020年度は2日(半日 x2)で1セットのオンラインによる研修を行いました。2021年度は、「講義部分を事前にオンデマンド配信」+「1日(終日)でグループワーク実施」の集中オンライン研修となりました。ミニ講義とグループワークにより、国際共修の意義と基本的な仕組みを理解したうえで、オンライン/ハイブリッドによる国際共修をどのようにデザインするかを実践的に学びました。また、現役の大学生が一部参加し、グループワークを学習者の視点で支援するのも当研修の特色となっています。

国際共修の分野で経験豊かな講師陣が企画から手掛けるこの研修は、分かりやすい講義、優れたファシリテーションと共に、今年度も参加者より高い満足度を得ました。

第1回 Introductory Business English ～ビジネス英語 ー初心者向け～

- ・実施日:2021年5月24日(月)9:30-17:30
- ・講師:ブリティッシュ・カウンシル英語講師 Annie Hubert
- ・参加者:団体正会員 10名/8大学、1教育機関

第2回 Supporting Students Face-to-Face, by E-mail and on the Telephone

～学生へのサポート(対面・メール・電話) ー中上級者向け～

- ・実施日:2021年7月5日(月) 9:30-17:00
- ・講師:ブリティッシュ・カウンシル英語講師 David Cruse
- ・参加者:団体正会員 11名/10大学、個人賛助会員 1名

第3回 Writing for Public Access Communication ～大学広報文の書き方 ー中上級者向け～

- ・実施日:2021年8月2日(月)・3日(火) 各日 10:00-13:15
- ・講師:ブリティッシュ・カウンシル英語講師 Annie Hubert
- ・参加者:団体正会員 8名/7大学

第4回 Presentations:Your University ～大学紹介とプレゼンテーション ー中上級者向け～

- ・実施日:2021年8月30日(月)・31日(火) 各日 10:00-13:15
- ・講師:ブリティッシュ・カウンシル英語講師 Annie Hubert
- ・参加者:団体正会員 8名/7大学

第5回 Advanced Writing ～交渉、報告書・提案書の書き方 ー中上級者向け～

- ・実施日:2021年10月11日(月)・12日(火) 各日 10:00-13:15
- ・講師:ブリティッシュ・カウンシル英語講師 Annie Hubert
- ・参加者:団体正会員 11名/10大学

第6回 Supporting Students Face-to-Face, by E-mail and on the Telephone

～学生へのサポート(対面・メール・電話) ー中上級者向け～

- ・実施日:2021年11月8日(月) 9:30-17:00
- ・講師:ブリティッシュ・カウンシル英語講師 Andy Drought
- ・参加者:団体正会員 12名/11大学

第7回 Business Speaking

～ビジネススピーキング 大学紹介、ネゴシエーション・クレーム対応実践編 ー中上級者向け～

- ・実施日:2021年12月6日(月) 9:30-17:00
- ・講師:ブリティッシュ・カウンシル英語講師 Andy Drought
- ・参加者:団体正会員 9名/9大学

2-2. JAFSA 主催／共催 ウェビナー、オンライン・ワークショップ

コロナ禍で大学を取り巻く留学環境は日々変動しており、会員大学から今後の見通しの判断に悩む声や、他校の状況を知りたいという声が事務局に多く寄せられています。それを受けて 2021 年度は、柔軟に会員のニーズに応じて様々なウェビナーやオンライン・ワークショップを企画し、会員特典として参加費無料にて実施しました。新企画は総計で「9 タイトル、17 本」。

現場寄り、マネジメント寄り、などの内容・レベルにバラエティを持たせるだけでなく、テーマによっては会員団体の共催・協力を得て、幅広い情報が与えられるように努めました。対面での情報交換や交流が難しい中、JAFSA ならではのネットワークの強みを実感できる機会ともなりました。

(1) With／After コロナの留学

新企画の中で、国際教育関連の現場に即した実践編です。With/After コロナに、受け入れ・送り出し留学をいかに進めてくか、他校の状況をシェアしたり専門家の意見を提供したりと幅広く展開し、いずれも好評でした。

① ワークショップ(オンライン):『【受け入れ／送り出し留学】の現状と今後の展開について』

・実施日:2021 年 6 月 24 日・25 日&7 月 8 日・9 日

第 1 回 受け入れ 6 月 24 日(木) 13:00-14:30/送り出し 6 月 25 日(金)10:00-11:30

第 2 回 受け入れ 7 月 8 日(木) 13:00-14:30/送り出し 7 月 9 日(金)14:00-15:30

・主 催:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

・登壇者<第 1 回、第 2 回共通>

●6/24(木)、7/8(木)【受け入れ留学】

近藤 佐知彦(大阪大学/JAFSA 監事)

水倉 亮(明治大学[JAFSA 団体理事校] 国際連携機構 特任講師)

●6/25(金)、7/9(金)【送り出し留学】

大村 吉弘(近畿大学/JAFSA 監事)

先崎 トラビス(国際教養大学[JAFSA 団体理事校] 国際センター長)

・参加対象:JAFSA 団体正会員大学・高専の国際関連部署の方。ディスカッション参加のため、ある程度現場経験があり、自分で意見が言えるレベルの方。原則、「19 年度以前=コロナ前、20 年度以降=コロナ禍」の両方の経験がある方。(中級以上)

・参加人数:各回 30 名

<内容> JAFSA 理事・監事校より 2 大学の方が登壇し、「ポストコロナを見据えた【受け入れ／送り出し留学】に関する、現況と今後について」事例紹介を実施。その後、参加者(各 30 名)は、小グループ(1 グループ約 5 名)に分かれて、各校での状況を相互にシェアしました。

② ウェビナー:『第 3 機関を通しての海外大学派遣先の拡大と学生サポート拡充』

・実施日:2021 年 7 月 16 日(金)10:00-11:45

・共 催:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション [JAFSA 団体正会員]

・登壇者:

- ◆Tara Neuwirth(UCLA Extension International Programs, Executive Director)
- ◆Julie Norminton(UCLA Extension International Programs, Academic Coordinator)
- ◆工藤 奈緒子(駒澤大学 国際センター事務室 係長)
- ◆鈴木 栄(東京女子大学 現代教養学部 国際英語学科 学科長)代読:SAF 平野紗衣子
- ◆藤本 実千代(SAF マネージャー、ネットワーク・新規開発、プログラム運営)

・参加対象:JAFSA 団体正会員で、国際関連部署の教職員

・参加人数:56 名(48 大学)

<内容> 国内外の大学と連携して学生モビリティに貢献している第3機関の「SAF スタディ・アブロード・ファウンデーション」を迎え、『SAF の活動内容および、海外メンバー校の SAF を通した受け入れ実例、日本の SAF メンバー校の学生送り出しの実例』を紹介しました。

会員大学の学生へ海外大学の派遣先やプログラムの選択肢を増やし、学生もしっかりとした危機管理体制やサポートのもと留学ができる方法の一つとして、第3機関の利用を提案しました。

③ ワークショップ(オンライン):『COVID-19 と海外派遣留学をめぐる「危機管理」』

・実施日:全3回シリーズ 2021年11月16日(火)、11月30日(火)、12月14日(火)

・主 催:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

・協 力:特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)[JAFSA 理事団体]

・参加対象:JAFSA 団体正会員大学・高専限定

・講 師:(全3回共通)酒井悦嗣 JCSOS アドバイザリーボード

・プログラム構成:(全3回共通)前半は講師による各回テーマに基づく講義。その後、参加者は1グループ約4名のグループに分かれ、講師より与えられた課題についてディスカッション。最後にグループごとに発表を行い、参加者全員で共有すると共に、講師が講評しました。

第1回

・実施日:2021年11月16日(火)14:00-15:30

・テーマ:コロナ禍における海外派遣実施に向けて

・参加人数:18名(17大学)

<内容>各大学の海外留学派遣基準を元に、海外派遣開始の方向に舵を切ろうとした場合の、リスク管理とコンプライアンス上求められるポイントについて考えました。

第2回

・実施日:2021年11月30日(火)14:00-15:30

・テーマ:COVID-19 と海外旅行保険:事故発生時に知っておきたい保険対応の違い

・参加人数:19名(17大学)

<内容>海外旅行保険が想定している疾病とその基本的取扱いを説明しながら、COVID-19 の場合に発生する問題を解説。留学中の感染を想定し、発病・重症化・死亡した場合等の課題を共有し、今後続くウィズコロナ環境での対応策を検討しました。

第3回

・実施日:2021 年 12 月 14 日(火)14:00-15:30

・テーマ:事態急変による緊急対策と保護者対応

・参加人数:18 名(16 大学)

<内容>プログラムの延期、中止、および中断帰国指示等において、発生する可能性のある保護者との意思疎通の齟齬、トラブル等、これまでの事例を踏まえ、事前の準備で可能なトラブル回避、発生したトラブルの対応、そして再発防止を考えました。

④ ウェビナー:「英語資格試験最新情報」～英検®、IELTS™、TOEIC® Program、TOEFL® Test の今

・実施日: 2021 年 12 月 8 日(水)・9 日(木)

・参加対象:JAFSA 会員限定

・参加人数:80 名(正会員大学 52 大学)

第 1 回 2021 年 12 月 8 日(水)

10:00-10:30 英検® ※英検®は公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。

・登壇者:平 慶彦(公益財団法人 日本英語検定協会 カスタマーサービス部 部長代理)

10:35-11:05 IELTS™

・登壇者:塩崎 修健(公益財団法人 日本英語検定協会 事務局渉外担当部長)

第2回 2021 年 12 月 9 日(木)

10:00-10:30 TOEIC® Program

・登壇者:永井 聡一郎(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会(IIBC)

IP 事業本部 IP 普及ユニット ユニットマネージャー)

10:35-11:05 TOEFL® Test

・登壇者:根本 斉(ETS Japan 合同会社 カントリーマネージャー)

<内容>会員大学・機関の国際関係部署の方々が日頃接している、各英語資格試験を改めて取り上げ、一般的な試験概要・内容の紹介ではなく、「コロナ禍を受けての対策・特別対応」「この 1~2 年で試験自体に大きな変更が生じた事」等にフォーカスを当て、各英語資格試験団体(JAFSA 団体正会員)の担当者が説明を行いました。

(2) スポットライト ～コロナ禍での現状と今後を考える～

新企画のうち、With/After コロナにおける、日本の大学を取り巻く状況や方向を考える機会として実施。いずれも参加枠 150 名以上の大型ウェビナーとして設定し、より多くの会員の方が視聴できるようにしました。

① ウェビナー:『国際高等教育のいま。～信頼と価値観の共有～』

・実施日:2021 年 6 月 8 日(火)13:30-14:50(質疑応答含む)

・主 催:特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

・司 会:高田幸詩朗(JAFSA 事務局長)

・登壇者

◆杉村 美紀(上智大学[JAFSA 会長校] 総合人間科学部教育学科 教授)

◆徳留 丈士(文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 国際企画室 室長補佐)

*NAFSA2021 オンライン大会では、文部科学省 高等教育局 主任大学改革官 佐藤 邦明氏が登壇)

◆山岸 敬和(南山大学 国際センター長/国際教養学部 教授)

・参加対象:JAFSA 会員

・参加人数:約 152 名(JAFSA 会員 95 団体)

<内容>当ウェビナーは元々、「NAFSA2021 バーチャル大会」の中の「JAFSA セッション」として、日本の高等教育の動向について発表している内容を、NAFSA2021 のセッションに参加できなかった国内の多くの JAFSA 会員のために日本語で実施したものです。COVID-19 の影響で、自由な行き来が閉ざされた国際交流や留学の現場は大きな打撃を受けていますが、会員大学・機関が各種対応に追われている中、現状の課題をふまえて今後について考えていく機会としました。

② ウェビナー:『コロナ禍における、秋以降の留学・海外研修の実施-SGU 採択校を例とした現状と今後』

・実施日:2021 年 9 月 30 日(木)15:30-16:30

・主 催:特定非営利活動法人 JAFSA (国際教育交流協議会)

・共 催:特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会(JCSOS) [JAFSA 理事団体]

・登壇者および発表内容(登壇順)

◆泉 茂樹(文部科学省 学生・留学生課 留学生交流室 室長補佐)

◆吉岡 路(文部科学省 高等教育企画課 国際企画室 専門官)

1)海外留学における最新動向

2)SGU の現状と展望

◆曄道 佳明(上智大学 学長/JAFSA 会長)

1)コロナ禍での対策と学生派遣について

2)SGU 支援事業の取り組みと今後について

◆池野 健一(JCSOS 理事長/JAFSA 理事)

コロナ禍における学生派遣の危機管理(注意すべき重要点のまとめ)

・参加人数:408 名

<内容>コロナ禍で派遣留学環境が変動する中、学校の指針・方針を明確化する上で参考となるよう開催。派遣留学の担当官庁として「文部科学省」、大学経営の立場で JAFSA 会長校「上智大学」、派遣留学危機管理のプロフェッショナルとして「JCSOS」が登壇しました。

(3) DE&I (Diversity, Equity & Inclusion) シリーズ

新企画ウェビナーのうち、昨今話題の「Diversity, Equity & Inclusion」をテーマに取り上げました。特に「Equity」は日本の大学においても重要概念となっており、会員大学の事例紹介を行いました。

① <第1回>『女子大学の存在意義～国際交流における特長と課題～』

・実施日: 2021年11月24日(水)13:30-14:30

・登壇者(登壇順)

講演 1: 高橋 裕子(津田塾大学 学長/JAFSA 理事)

講演 2: 山崎 真伸

(昭和女子大学 国際交流センター(CIE)次長/国際学部 国際学科留学プログラムディレクター)

・参加人数: 70名(正会員大学 32校、正会員各種教育機関 4団体)

<内容> 女子大学はなぜ「女子大学」としての存在意義を求めるのか、特に国際交流を行うにあたり、女子大学ならではの良さや課題について。

② <第2回>『大学の国際交流における DE&I の取り組みについて-1-』

・実施日: 2022年1月14日(金)13:30-14:30

・登壇者および講演内容(登壇順)

講演 1: 「早稲田大学におけるダイバーシティ推進の取り組み」

リー・マージ・クリスティン

(早稲田大学 国際学術院 国際教養学部 教授、国際部長/ダイバーシティ推進委員会委員)

講演 2: 「日本の高等教育機関、並びに大阪大学の障害学生支援の現状のご紹介」

望月 直人(大阪大学 キャンパスライフ健康・相談支援センター相談支援部門 准教授)

・参加人数: 60名(正会員大学 38校、正会員各種教育機関 1団体、賛助会員 1企業)

<内容> 各大学の国際交流における DE&I の取り組みについて。

③ <第3回>『大学の国際交流における DE&I の取り組みについて-2-』

・実施日: 2022年3月2日(水)13:30-14:30

・登壇者および講演内容(登壇順)

講演 1: 「立命館アジア太平洋大学の多様性への取り組み」

立山 博邦

(立命館アジア太平洋大学 学生部長(APハウス長兼務)/教育開発・学修支援センター 准教授)

講演 2: 「留学生支援を通してみえてきたこと」

小島 奈々恵

(東北大学 高度教養教育・学生支援機構 学生支援開発部門 学生相談・特別支援センター 講師)

<内容> 各大学の国際交流における DE&I の取り組みについて。

・参加人数: 90名(正会員大学 56校、正会員各種教育機関 2団体、賛助会員 1企業)

2-3. JAFSA 共催(共同)調査

会員大学間で留学をめぐる現況が共有できるよう、調査(アンケート)も積極的に進めました。団体会員の協力を得て、下記 2 件を実施。いずれも回答率が高く、会員のニーズが伺えました。

(1) 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と海外派遣留学プログラム実施に関するアンケート」

- ・実施期間:2021 年 10 月
- ・共 催:特定非営利活動法人 海外留学生安全対策協議会(JCSOS) [JAFSA 理事団体]
- ・内 容:JCSOS 会員校および JAFSA 会員大学・高専の海外派遣留学プログラム等の実施状況等を収集し、実態を会員間で共有するためのアンケート。(回答結果は、回答校限定公開)

(2) 「オーストラリア短期派遣留学についてのアンケート」

- ・実施期間:2021 年 10 月
- ・共 催:オーストラリア大使館 商務部 [団体正会員]
- ・内 容:JAFSA 会員大学・高専に対し、オーストラリアへの短期派遣留学について、コロナ禍で現地渡航ができない中、どのように取り組んでいるか、実態や意見を尋ねるアンケート。(回答結果は、回答校限定公開)

2-4. JAFSA 協力/後援プログラム

団体会員(正会員・賛助会員)による各種フェア・プロジェクトにおいて、企画や広報等で協力。内容や関わり方の程度により、協力・後援等の形で対応しました。

(1) JAFSA 協力プログラム [すべてオンライン開催]

[実施協力]

① ENZ Market Insights Series (East Asia and India)

- ・主 催:ニュージーランド大使館 エデュケーション・ニュージーランド(ENZ) [団体正会員]
- ・実施日:2021 年 12 月 2 日(木)
- ・内 容:ニュージーランドの教育機関に対してアジア圏の高等教育の動向を示すウェビナーにて、「日本セッション」として、JAFSA が 団体紹介や会員大学のコロナ禍での動向について発表。

[広報協力]

② オンラインセミナー:「学生の英語力向上のための次世代型英語スピーキングテストの効果的な活用法とは？」

- ・主 催:株式会社プロゴス[プラチナ賛助会員]
- ・実施日:2021 年 7 月 28 日(水)

③ ニュージーランド英語学校 オンラインセミナー

- ・主 催:ニュージーランド大使館 エデュケーション・ニュージーランド[団体正会員]
- ・実施日:2021 年 9 月 2 日(木)

④ オンラインセミナー「グローバル・ブランディングと海外大学の成功事例」

～過去 4 年間で QS 世界大学ランキングを 134 位ランクアップに繋げた海外大学事例～

・主 催:株式会社 KEI アドバンス[プラチナ賛助会員]

・実施日:2021 年 10 月 7 日(木)

⑤ 外国人留学生のキャリア形成支援シンポジウム

・主 催:関西大学国際部、SUCCESS-Osaka[団体正会員]

・実施日:2021 年 10 月 27 日(水)

⑥ 国際業務スキルアップオンライン研修シリーズ(全 3 回)

・主 催:株式会社早稲田大学アカデミックソリューション[ダイヤモンド賛助会員]

第 1 回 派遣留学における学生サポート向上セミナー

・実施日:2021 年 11 月 12 日(金)

第 2 回 多様性とコミュニケーション～留学生対応のための異文化コミュニケーションとマインドセット～

・実施日:2021 年 11 月 25 日(木)

第 3 回 学生対応現場におけるメンタルヘルスへの配慮と気づき

・実施日:2021 年 12 月 7 日(木)

⑦ 2021 年度 大学業務ソリューションセミナー(大学間ネットワーキング)

～コロナ禍における大学の取り組みと、ポストコロナ時代を見据えた大学の計画～

・主 催:株式会社早稲田大学アカデミックソリューション[ダイヤモンド賛助会員]

・実施日:2021 年 12 月 13 日(月)・15 日(水)

⑧ 大学教職員対象 いまさら聞けない!「QS 世界大学ランキング」初心者向けセミナー

・主 催:株式会社 KEI アドバンス[プラチナ賛助会員]

・実施日:2022 年 2 月 25 日(金)

⑨ 【Q&A セミナー】急速に広がる世界標準入試システム「TAO(The Admission Office)」を徹底解説

・主 催:株式会社サマデイ(プラチナ賛助会員)

・実施日:2022 年 3 月 16 日(水)

(2) JAFSA 後援プログラム [すべてオンライン開催]

① BJTビジネス日本語能力テスト

・主 催:公益財団法人 日本漢字能力検定協会[団体正会員]

・2021 年度(通年)

② 第 71 回 JCSOS 定例セミナー「新型コロナウイルスと海外留学～派遣留学再開に向けて～

・主 催:NPO 法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)[団体正会員]

・実施日:2021 年 6 月 9 日(水)

③ 2021 年国際教育夏季研究大会(SIIEJ2021)

- ・主 催:一般社団法人国際教育研究コンソーシアム (RECSIE)
- ・開催日:2021 年 7 月 17 日 (土)、8 月 26 日(木)・27 日(金)、10 月 23 日(土)、11 月 20 日(土)

④ 海外留学オンラインセミナー

- ・主 催:一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)[団体正会員]
- ・実施日:2021 年 8 月 26 日 (木)

⑤ 国際教育の理論と実践を学ぶワークショップ

- ・主 催:BRIDGE Institute
- ・実施日:2021 年 10 月 16 日 (土)

⑥ 欧州留学オンラインフェア 2021

- ・主 催:駐日欧州連合代表部
- ・共 催:Campus France フランス政府留学局・日本支局、ドイツ学術交流会(DAAD) [団体正会員]
- ・開催日:2021 年 10 月 29 日(金)・30 日(土)

3. アウトリーチ・広報に関する事業

3-1. 国際教育交流に関する研究・調査

(1) JAFSA からの提言—岸田内閣総理大臣に対する要望書の提出—

新型コロナウイルスの影響により、日本の大学は受け入れも含め 3 学年間国際交流を中止せざるを得ず、大学の学事や高度人材の育成に重大な影響が出つつあることを踏まえ、政府に対して大学支援対応策を要望。会長はじめ理事大学より賛同を得ました。また、一般社団法人 日本経済団体連合会(経団連)からは、大学の声が聞こえてこない部分があるため、今回の要望書の提出に対しては、評価と協力の申し出がありました。

・提出日:2022 年 2 月 2 日

・提出先:首相官邸(ホームページ経由)

・要望団体(連名):特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会)

特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS) [JAFSA 団体理事]

一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)[JAFSA 団体正会員]

・タイトル:『一日も早い、大学の国際交流の再開へ』

(2) 「大学の国際化促進フォーラム」に正会員として入会

「大学の国際化促進フォーラム」とは、スーパーグローバル大学創成支援事業(SGU)の後に続く文部科学省の事業で、2021 年 9 月に発足。日本の大学の国際化をオールジャパンで促進する大学の主体的な活動の場として、SGU 採択校を中心に、世界展開力採択校及び希望する大学・機関等が会員となり、文部科学省等関係機関とも連携しつつ、大学の国際化に関わる取組みや研究の実施・共有・展開、情報の提供・共有を行いました。SGU 事業終了後(2024 年度～)は、自律的運営組織へと発展させることを前提としており、正会員として、各事業協力を担っていきます。

(3) 「JPN-COIL 協議会」に賛助会員として入会

「JPN-COIL 協議会」は、2018 年度大学教育再生戦略推進費 –世界展開力強化事業–(文部科学省)に採択された 13 大学(千葉大学、東京大学、東京外国語大学、国際基督教大学、東京藝術大学、鹿児島大学、琉球大学、大阪市立大学、上智大学、お茶の水女子大学、静岡県立大学、南山大学、関西大学)を発起人大学として発足。「COIL を始めとした次世代の国際連携教育手法を活用した双方向交流プログラムの構築及び運営にあたり、国内外の高等教育機関と連携し、相互に教育技術の向上や質の向上のための諸事業を展開することにより、世界の架け橋となる人材育成に寄与すること」を目的としている。関西大学が事務局を担っています。賛助会員として、事業をサポートしていきます。

3-2. JAFSA の広報に関する事業

(1) 2020 年度年次報告書の作成および配布

2021 年 8 月、団体正会員・賛助会員には冊子による 2020 年度年次報告書を送付(2021 年度年次報告からは団体会員宛含め、すべて PDF による配信に変更)

(2) ホームページおよびメールリスト運営

1) メールリスト運営・管理

- 団体・個人会員配信アドレス数(部署アドレス含む):約 1,100 件 推定読者数:約 6,000~8,000 名
- [jafsa-station](会員からの情報発信/イベント告知/人材募集)2021 年度年間配信数:約 450 通
- [jafsa-office] (事務局からの配信専用) 2021 年度年間配信数:約 190 件
- JAFSA 組織運営用メールリスト(理事監事用、各事業グループ用)
- 事業運営用(NAFSA 出展団体用、EAIE 出展団体用、APAIE 出展団体用、大使館関係者用 等)
- 『SBP(ソーシャル・ビジネス・パートナーズ)ニュース』(賛助会員サービス:[jafsa-station]を活用して事務局より配信)

2) JAFSA ウェブサイトの運営

必要な情報に素早くアクセスしやすくする事を目的に JAFSA のウェブサイトを抜本改修し、2021 年 4 月にリニューアルオープン。非会員が JAFSA を広く知ることができる一般ページと、JAFSA 会員のみがアクセス可能な会員専用ページに大きく分類し、対象に応じた的確な情報が提供できるようにしました。併せてデザインも一新し、視覚的に必要な情報がすぐに見つけられるよう図りました。



特定非営利活動法人JAFSA（国際教育交流協議会）
Japan Network for International Education

2021年度年次報告書

<https://www.jafsa.org>

日本の大学を、世界へ。